

Lesson 2

Lesson 2 では、これから Walk in home を使っていくにあたって、Walk in home Plus の基本画面や基本的な使い方、よく使うアイコンやメニューの説明などを行っております。

それでは、Walk in home Plus を始めるまえに、Walk in home Plus の基本操作をマスターしていきましょう。



Lesson2 目次

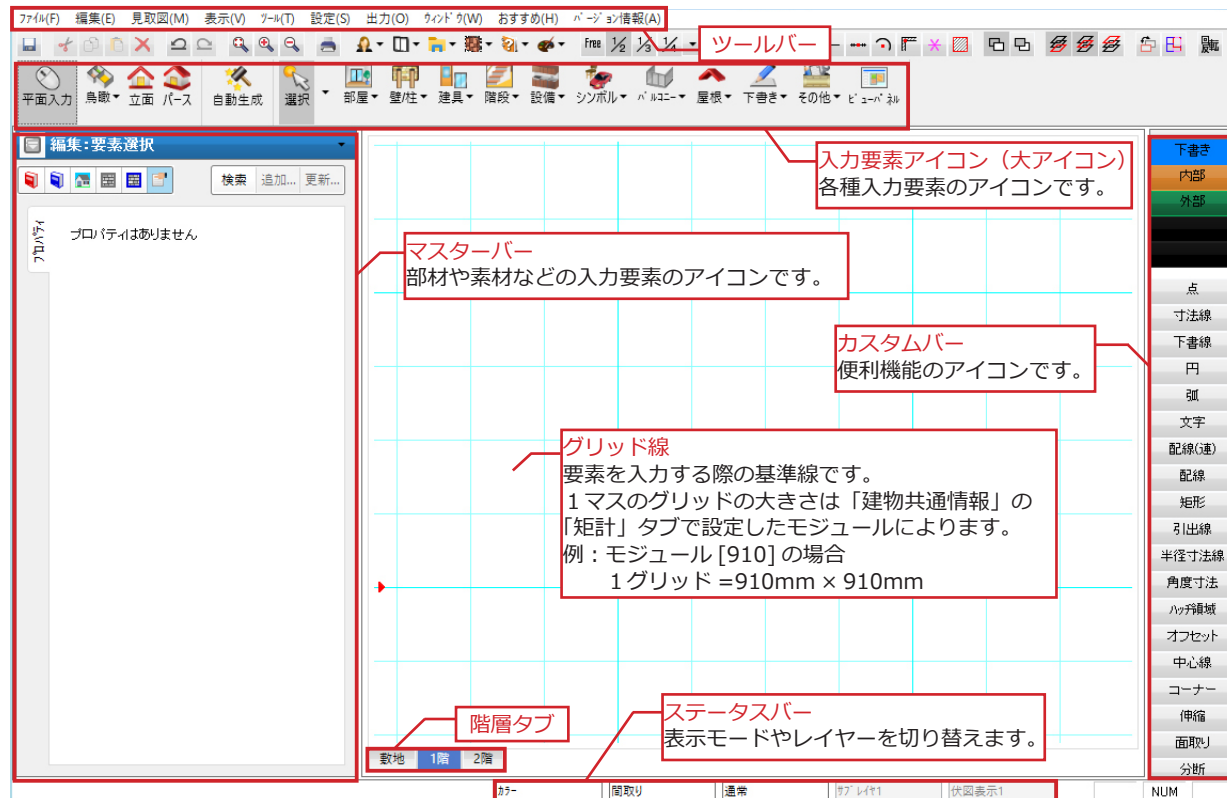
Walk in home Plus の基本画面	2-3
平面入力画面	2-3
ユーザーツールと入力モード	2-4
画面操作	2-5
キーボードのショートカット	2-6
キーボードでの入力補助	2-6
Walk in home Plus の基本入力	2-7
基本的な平面入力	2-7
物件データを保存する	2-8
物件管理画面へ戻る	2-8
物件情報と建物共通情報	2-9

Walk in home Plus の基本画面

平面入力画面

Walk in home Plus の基本的な入力画面です。

ここで入力した要素は鳥瞰図・俯瞰図・立面図・パースに同時に反映されます。



① ② ③ ④

①平面入力 ②鳥瞰 ③立面 ④パース

アイコンを切り替えることにより、様々なモードで
外観・内観を確認することができます。

※「鳥瞰」には「俯瞰」が含まれています。



⑤ ⑥

⑤自動生成 要素を自動で作成します。

⑥選択 要素を選択しているときの選択解除を
したり、レイヤを切り替えます。



(各種) 要素入力ボタン

各ボタンからそれぞれの要素を入力します。

表示されている項目が大項目となり、その属性の小項目がプルダウンで表示されます。



⑧基本辞書

部屋や部材など入力要素一覧を表示します。

⑨スタイルデザイン

スタイルデザイン一覧を表示します。

⑩素材

素材一覧を表示します。

⑪プロパティ

入力要素のプロパティを表示します。

⑫階層ボタン

格納されている部材・素材を表示します。

ユーザーツールと入力モード

ユーザーツール



①

①上書き保存 物件データを上書き保存します。



② ③ ④ ⑤

②切り取り 入力した要素を切り取ります。

③コピー 入力した要素をコピーします。

④貼り付け コピー・切取した要素を貼り付けます。

⑤削除 入力した要素を削除します。



⑥ ⑦

⑥元に戻す 元の状態に戻します。

⑦やり直し 「元に戻す」の作業を取り消します。

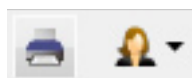


⑧ ⑨ ⑩

⑧フィット 画面を全体表示させます。

⑨拡大 画面を拡大表示させます。

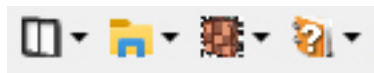
⑩縮小 画面を縮小表示させます。



⑪ ⑫

⑪印刷 表示されている画面を印刷します。

⑫遠隔サポート サポートセンターで遠隔サポートを受けられます。(ダイヤモンド会員のみ)



⑬ ⑭ ⑮

⑬建具エディター 建具形状を作成します。※⑮の本体マニュアル「ユーティリティ編」参照

⑭素材エディター 素材データを作成します。※⑮の本体マニュアル「ユーティリティ編」参照

⑮マニュアル 「Walk in home」の本体マニュアルを表示します。

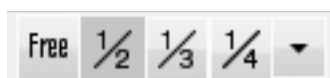


⑯

⑯回転・反転バー 入力した要素を回転・反転させます。

入力モードアイコン

入力する際のスナップモードです。



⑰ ⑱ ⑲ ⑳

⑰フリー ⑱ 1 / 2 ⑲ 1 / 3 ⑳ 1 / 4

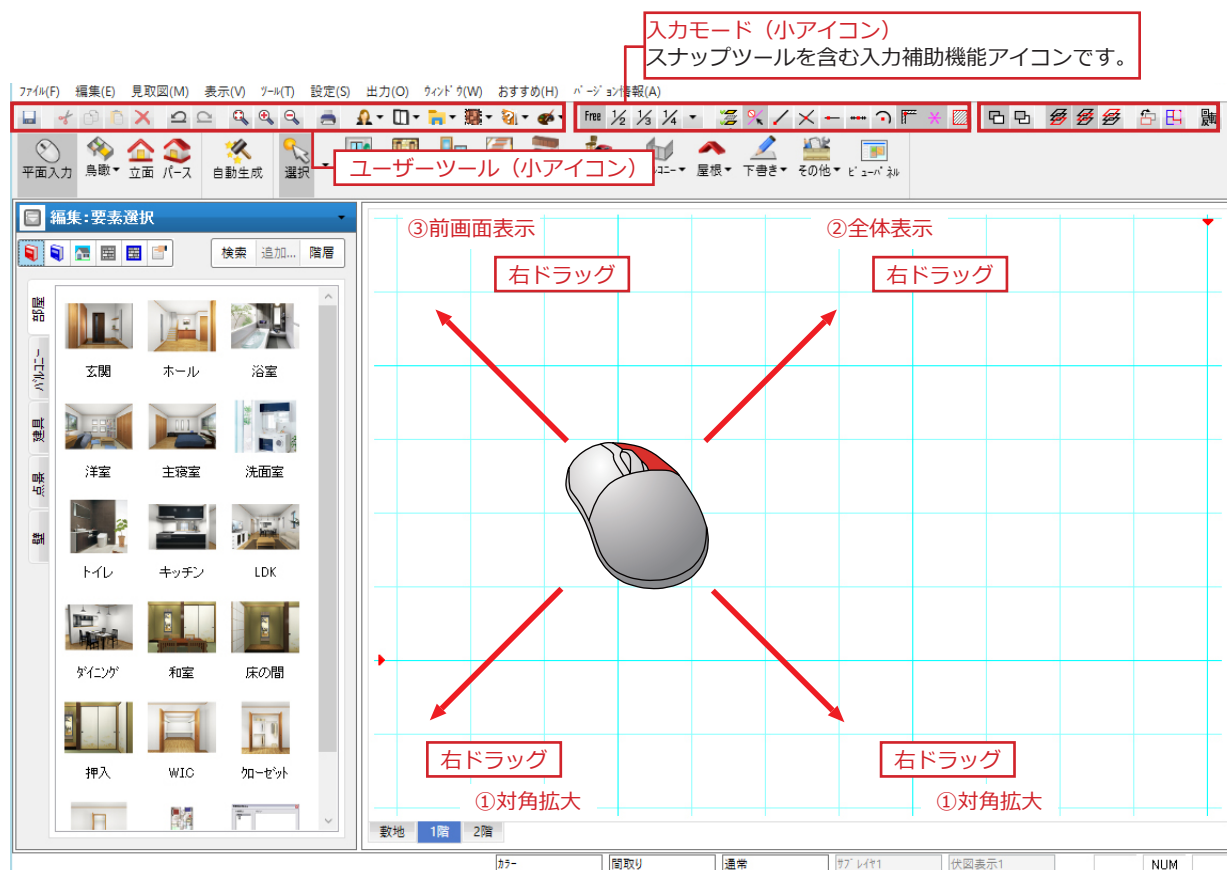


⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙

㉑補助線選択禁止 ㉒端点 ㉓交点 ㉔線上点 ㉕中点㉖円弧中心点 ㉗壁面 ㉘点 ㉙要素線

※「補助線選択禁止」「端点」「交点」「線上点」「中点」「円弧中心点」「点」は下書き線が入力されている場合に使用します。

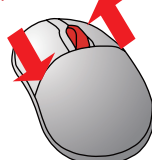
画面操作



①対角拡大

「右下方向」または「左下方向」にマウスを右ドラッグした範囲を拡大します。

④拡大



⑤縮小

④⑤拡大・縮小

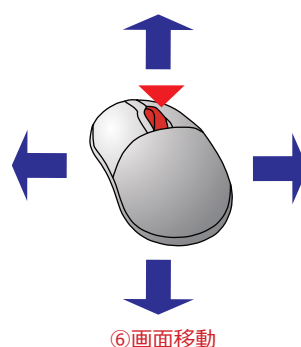
拡大：手前に回転
縮小：奥に回転

②全体表示

「右上方向」にマウスを右ドラッグすると、画面全体を表示します。

③「前画面表示」

「左上方向」にマウスを右ドラッグすると、1つ前に画面表示に戻ります。



⑥画面移動

マウスホイールを押したまま、画面上でマウスを移動すると、それに合わせて表示画面が移動します。

キーボードのショートカット

マウスで行う操作を、ショートカットキーで行ってみましょう。

マウス操作に慣れたら、ショートカットキーをカスタマイズすることでより効率的に入力できるようになります。ここでは代表的なショートカットキーをご紹介します。



Ctrl + **X** (さ) 「切り取り」: 選択した要素を切り取ります。

Ctrl + **C** (そ) 「コピー」: 選択した要素をコピーします。

Ctrl + **V** (ひ) 「貼り付け」: 切り取り・コピーした要素を貼り付けます。

Ctrl + **Z** (っ) 「やり直し」: 1つ前に行った作業をやり直します。

Ctrl + **F9** MASTER フォルダを表示します。

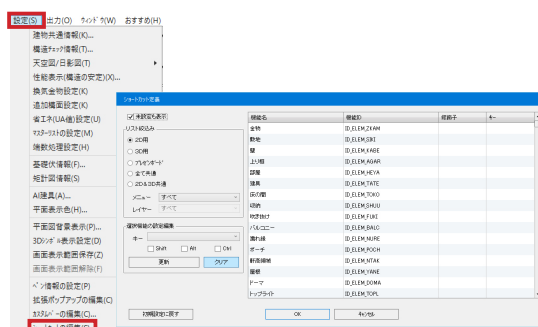
F4 「連続削除」: 要素の連続削除ができます。

Delete 要素を削除します。

F9 物件のドキュメントフォルダを開きます。

+ 補足

平面入力画面より、「設定」の「ショートカットキーの編集」からショートカットキーの追加・編集ができます。



キーボードでの入力補助

Shift 「連続選択・連続入力」、「自由角度入力」

Alt 「選択候補表示」、「垂直・平行入力」

Ctrl 「点の挿入」、「垂線の入力」、「建具の開閉」

Walk in home Plus の基本入力

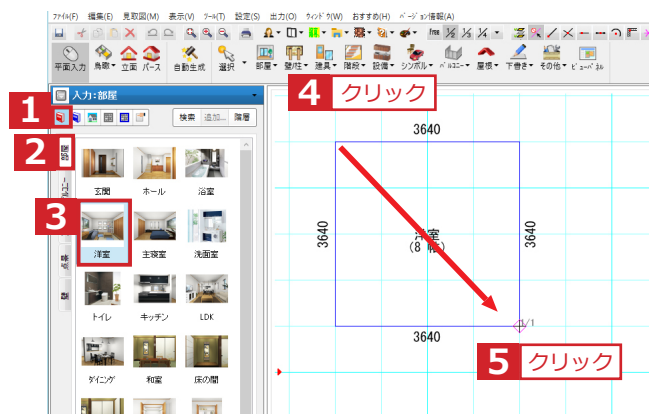
基本的な平面入力

それでは基本的な部屋の入力をして
みましょう。

矩形入力

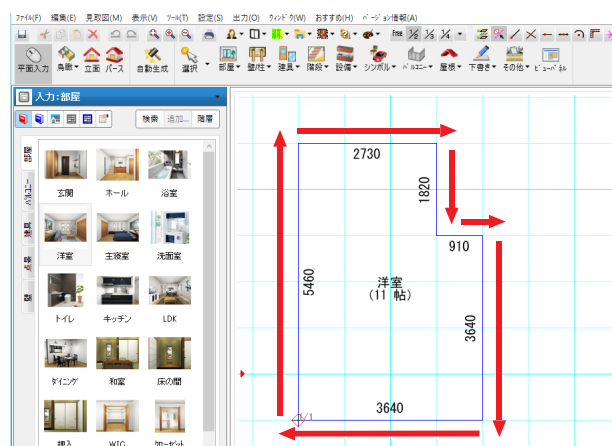
1「基本辞書」の2「部屋」から3「洋室」
を選択します。

4 1点目をクリックし、部屋の大きさが
表示されるのを確認しながら5 2点目を
クリックします。



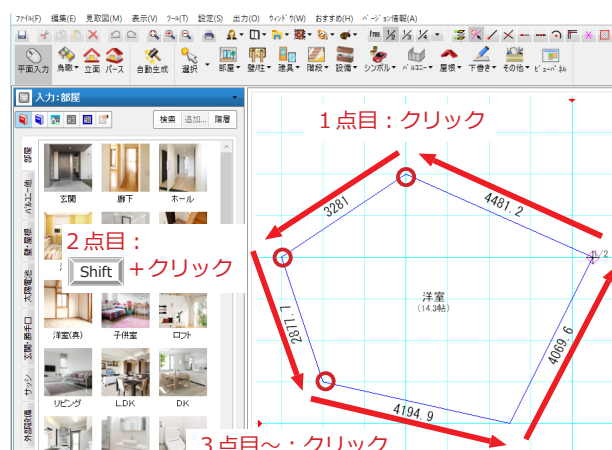
多角形入力

部屋の形状が矩形ではなく、多角形の場合、
グリッドをたどりながら時計回りか、
反時計回りで入力します。
最後は、最初の点に戻るか、1つ前の点で
ダブルクリックすると確定します。



自由角度入力

1点目から2点目にかけて、斜めに入力を
始める場合、1点目クリック後に [Shift]
を押しながら2点目をクリックします。
3点目以降は、クリックのみで形を入力して
いきます。



注意

「選択」をクリックすると、入力モードが
終了します。

物件データを保存する

作成した物件を保存する場合、上書き保存と名前を付けて保存ができます。

上書き保存する場合は、1「ファイル」から2「上書き保存」を選択します。

+ 補足

「保存」からでも上書き保存ができます。

別名で保存する場合は、1「ファイル」から2「名前を付けて保存」を選択します。

- 3「物件番号」
- 4「物件名称」
- 5「タブ名称」を選択し、
- 6「OK」をクリックします。

物件管理画面へ戻る

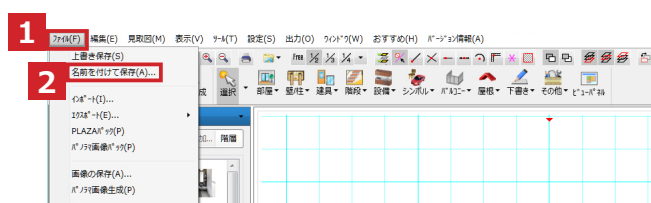
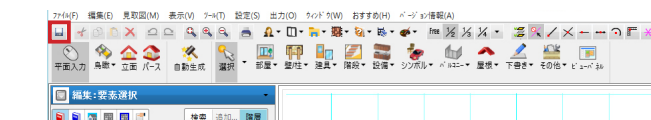
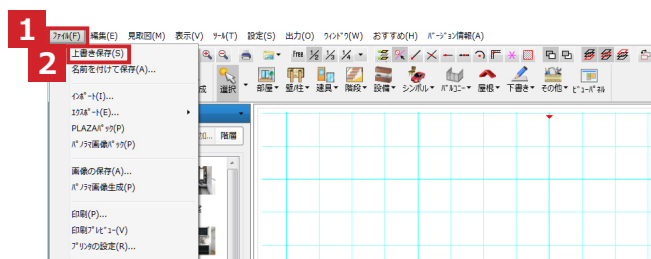
保存した物件データは「物件管理画面」で確認することができます。

1「ファイル」から2「アプリケーションの終了」を選択すると、物件管理画面に戻ります。

保存した物件データは「物件管理画面」で物件を選択して「開く」から開きます。

⚠ 注意

物件を同時に複数開き、物件間での要素コピーや貼り付けができます。



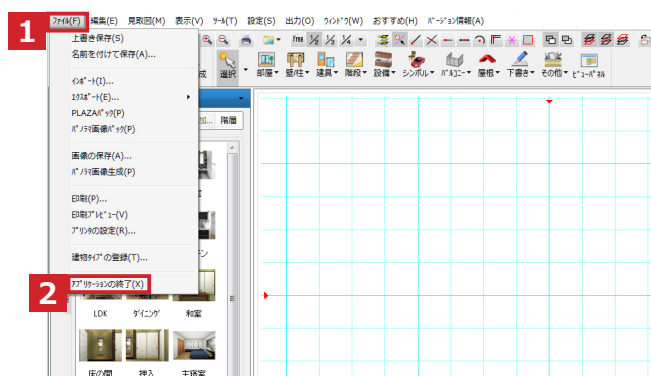
名前を付けて保存

3 物件番号(K): A0000

4 物件名称(N): ○○様邸新築工事

5 タブ名称(T): 全体

6 OK



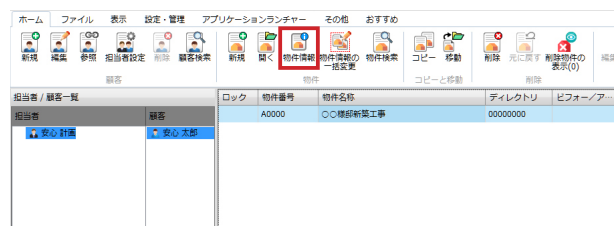
アプリケーションランチャー

ロック	物件番号	物件名称	ディレクトリ	ピフォアブ...	ステータス	作成日時
	A0000	○○様邸新築工事	00000000			2019/11/19 09:07:43 20

物件情報と建物共通情報

新規作成で設定した情報は、「物件管理画面」で確認することができます。

- 1 「ホーム」をクリックし、
 - 2 「物件情報」を選択します。
- 「物件情報」画面が表示されます。



また、入力画面でも「物件情報」を確認・変更することができます。

- 1 「設定」から
 - 2 「建物共通情報」を選択します。
- 「建物共通情報」画面が表示されます。

